

## 平成26年度 鴨川アクションプランフォローアップ委員会の概要

### ■開催日時

平成27年3月10日（火） 10:00～12:00

### ■場所

京都平安ホテル

### ■出席者

委員7名（敬称略、五十音順）

- 中川 博次（京都大学名誉教授）（委員長）  
丘 眞奈美（京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表、歴史作家）  
勝 矢 淳雄（京都産業大学名誉教授）  
川 崎 雅史（京都大学大学院教授）  
金 田 章裕（京都府特別参与）  
戸 田 圭一（京都大学大学院教授）  
水 野 歌夕（写真家）  
吉 村 真由美（森林総合研究所主任研究員）  
（欠席）  
町 田 玲子（京都府立大学名誉教授）

### ■資料

- 資料1 平成26年の出水について  
資料2 水辺の回廊整備・鴨川創造プラン及び千年の都・鴨川清流プランの取り組み  
資料3 平成26年度 鴨川・高野川の整備状況  
資料4 鴨川の現況把握等について

### ■質疑応答・意見

#### 議題1「平成26年の出水について」

【戸田】26年8月の出水では本川上流から下流に向けて水位が順に上がっておらず、都市部からの雨水流出の影響が大きかったのではないかと感じる。

#### 議題2「水辺の回廊整備・鴨川創造プラン及び千年の都・鴨川清流プランの取り組み」

【丘】ギャラリー設置についての周知などを行っているか。広報の方法を工夫し周知していけばよいのではないかと。

【事務局】現地に案内板も無いといった意見も鴨川府民会議で出されているところであり、今後検討していきたい。

【吉村】ジョギングロードと回廊整備は25年度まで実施する計画だったが、現在の取組状況と今後の見通しは。

【事務局】それらの整備については、護岸整備や河川改修と時期を合わせて進める必要があったことも

あり、現在も取り組んでいるところ。新プランの5年間で完成に向けて取組んで参りたい。

【川崎】出水を経験した御池・四条間での芝生の養生の対応状況とエアコン室外機の景観対策の今後の見通しはどのようなか。

【事務局】芝生は25年台風18号災害後に活着しやすい種類に変更して復旧。人の踏圧に対して養生シートを設置。エアコン室外機の景観対策は各自治会、各組合、先斗町まちづくり協議会各々で検討していると聞いている。各々の考え方もあり引き続き相談にのりながら進めていきたい。

【戸田】中州・寄州の管理で計画的に施工箇所や施工順を考えているか。

【事務局】これまでの結果から経年的に溜まりやすい箇所が判ってきたので、例えばそのような箇所を重点的に観察しつつ環境への影響にも配慮した施工を行っていきたい。

【丘】観光資源としての納涼床などの利用に際し間伐材に係る補助といったものは有るか。

【事務局】エアコン室外機の囲いに対する補助に関しては府内産木材での負担が軽くなるよう配慮している。

【水野】現在設置されている室外機は撤去できるものなのか。

【事務局】洪水時に浸かる箇所は撤去、移動してもらおう。河川管理上の問題有無で判断。

【吉村】囲いではなく色の塗り替えでも良いのではないか。メーカーとの連携も考えてみてはどうか。

【事務局】塗り替えも補助対象項目に入れている。対応可能な方法で実施してもらおう。

【勝矢】自転車の危険行為とはどのような行為を考えているか。啓発とは何をしているのか。

【事務局】猛スピードでの走行などが挙げられる。日常的なパトロールでの注意により理解を求めている。

【勝矢】園路整備をすればするほどスピードを出す傾向になるのかもしれない。このような状況を踏まえ進めてほしい。

【事務局】放置自転車等は大きく減少している。自転車の乗り入れは規制が無いが今後の課題として検討していきたい。

【中川】過去の上流での改修経過からすると、河川区域内行為者が多数いる下流の改修には時間が掛かるのではないかと思うがどうか。

【事務局】25年18号台風での被害や桂川浚渫の進捗などで行為者の治水に対する理解が深まってきているのではないかと考えている。丁寧な調整や説明で下流の改修を集中的に進めていきたい。

### 議題3「平成26年度 鴨川・高野川の整備状況」

【金田】鴨川府民会議でギャラリーの展示内容について歴史的な内容以外の内容や外国語表記の追加の意見などが出されており、これまでの進め方から多少、追加、変更があるかもしれない。

【川崎】展示内容は情報過多となったり分散化させるよりは全体でのストーリー性を持たせることが必要。

【川崎】勸進橋付近の高水護岸は全て覆土して芝生を張り見えなくなるのか。

【事務局】接続ブロック部分は全て覆土し芝生張りを施す。坂路の石積みはそのままである。

【勝矢】下鳥羽のパラペット護岸とはどういうものか。落とし板部分の設置理由は。

【事務局】パラペット護岸はコンクリート擁壁等で堤防の一部を嵩上げたもの。出水時に設置するための落とし板は乗り入れ部のため普段は開いており、管理車両と利用者の出入り兼用で利用。

#### 議題4「鴨川の現状把握等について」

【丘】防犯面から監視カメラや夜間照明も考えてはどうか。アンケート調査によって危険箇所の聞き取りも行ってはどうか。

【勝矢】利用実態調査の調査方法と調査時間を教えて頂きたい。

【事務局】区間を区切って調査員が出入り人数をカウント。朝7時から午後5時まで2時間おきで実施。

【勝矢】調査した数字を出すときには調査方法等がわかるよう、丁寧な資料にすること。

危険を評価するためのデータとして自転車数の調査や危険を感じたかの聞き取りも考えられたい。

【事務局】調査結果の報告は充分整理した上で行うようにする。